

安全と衛生の講演会のご案内

2011年4月5日

尼崎労働者安全衛生センター

議長 松原 保

死者が12,000人を超え、行方不明15,000人以上という東日本大震災—1945年のアジア太平洋戦争敗戦に次ぐ、日本の転換期に否応なしになるという声まで出てきています。

私たち安全センターにとって、この地震、津波、放射線という言葉絶する大災害の中で、放射線被ばくとアスベスト曝露の問題は、責任感を持って追跡していくべき課題です。

今回は、この間福島県から仙台若林区に入られ現地を調査されたアスベストセンターの永倉冬史さんと、福島原発など各地の原発での作業経験をお持ちの当安全センター谷村梓さんのお二人から話を伺います。福島第一原発をめぐる状況についても紹介しますので、この中から、私たちが今から何をすべきかということがきっと見えてくるはずです。どなたでも参加できます（無料）ので、ぜひぜひ多数ご参加ください。

記

【と き】4月21日（木）午後6時～8時

【テーマ】①「災害現地とアスベスト」…永倉冬史

（中皮腫・じん肺・アスベストセンター事務局長）

②「原発内労働の実態」……谷村 梓

（尼崎労働者安全衛生センター顧問）

【ところ】尼崎市立労働センター（尼崎市東難波町4丁目18番23号）

TEL06（6482）6180

連絡先 事務局 塩見・飯田まで

TEL&FAX:06-4950-6653